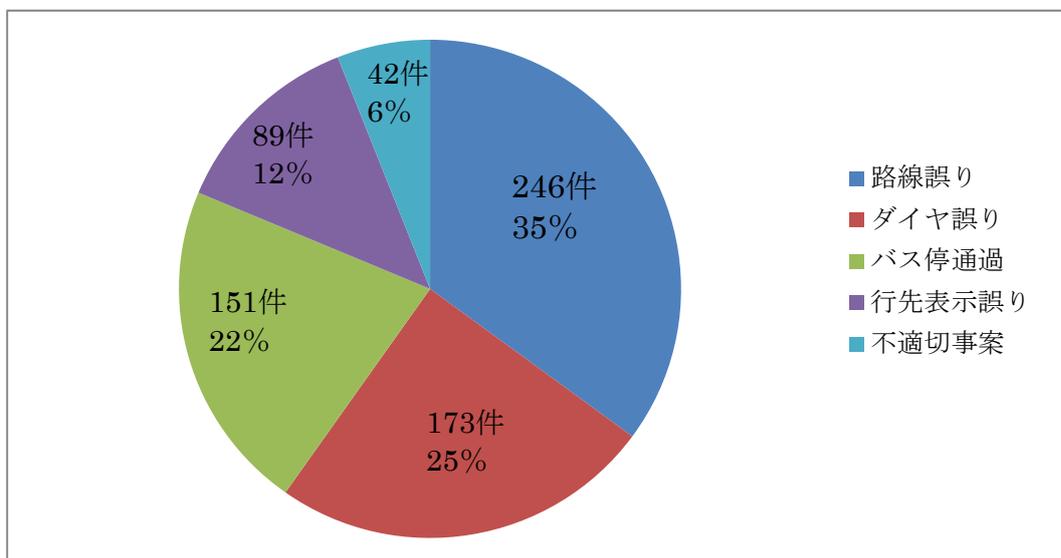


1 平成26年度の運行ミス等の状況

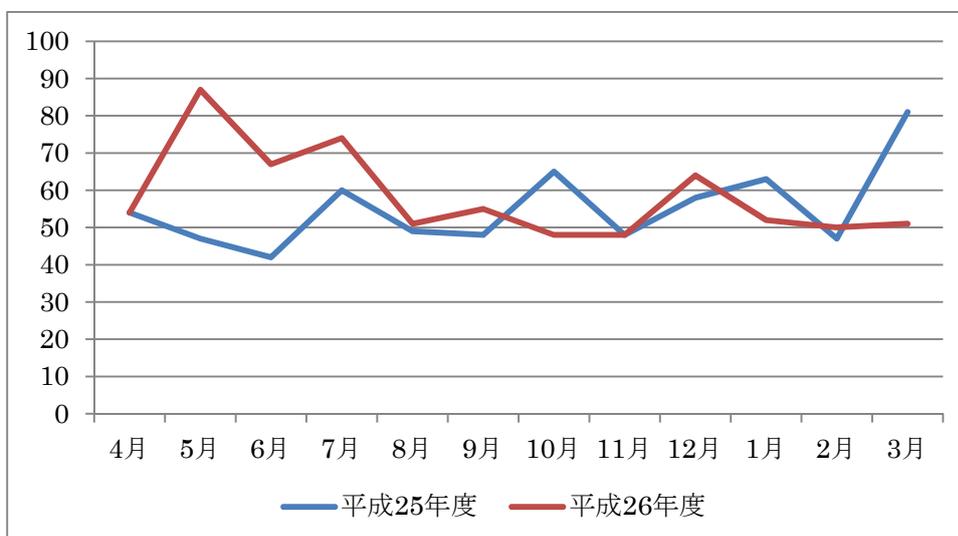
(1) 発生状況

- 平成26年度の運行ミス等の発生件数は701件で、平成25年度より39件（約6%）増加した。
- 事案別の内訳では、路線誤りが246件（約35%）で最も多く、以下ダイヤ誤りが約25%、バス停通過が約22%の順に多い。事案別の構成割合は、概ね25年度と同じである。
- 四半期別の件数は、第1四半期が最も多く、以降、徐々にではあるが減少傾向にある。

○ 事案別の件数



○ 平成25年度・26年度の月ごとの推移



○ 月別件数 (件)

区分	25年度	平成26年度												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
路線誤り	218	20	37	19	28	16	19	17	17	20	19	16	18	246
ダイヤ誤り	172	11	20	20	24	12	10	14	11	13	10	14	14	173
バス停通過	131	12	13	17	16	11	11	5	13	19	12	12	10	151
行先表示誤り	88	6	11	9	5	9	11	5	4	7	5	8	9	89
不適切事案	46	5	6	2	1	3	4	7	3	5	6	0	0	42
その他	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	662	54	87	67	74	51	55	48	48	64	52	50	51	701
一日当たり	1.8	1.8	2.8	2.2	2.4	1.6	1.8	1.5	1.6	2.1	1.7	1.8	1.6	1.9
四半期	662	208			180			160			153			701
一日当たり	1.8	2.3			2.0			1.7			1.7			1.9

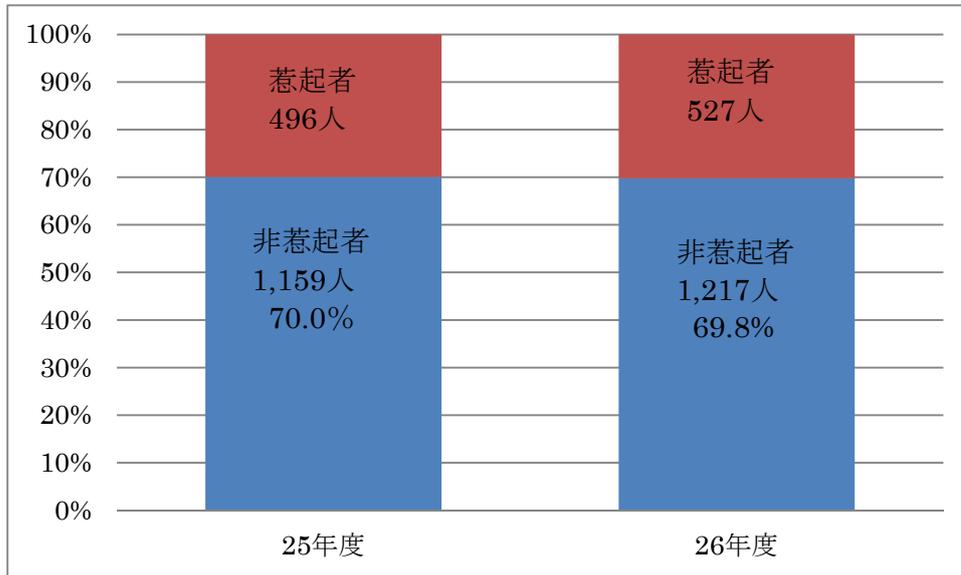
○ 不適切事案の内訳 (件)

区分	25年度	26年度
法令違反	20	22
信号無視	9	13
シートベルト未装着	5	2
運転免許証不携帯	1	3
携帯電話の使用等	1	1
基幹バスレーンの逆走	0	1
合図不履行	0	1
速度超過	1	1
指定場所一時不停止	1	0
指定通行帯に関する違反	2	0
その他の不適切事案	26	20
点検不履行	16	9
車両流動	10	10
燃料切れ	0	1
合計	46	42

(2) 惹起状況

- 平成25年度・26年度とも、約70%の乗務員は年度内に運行ミス等を起こしていません。

○ 年度ごとの割合



(惹起：運行ミス等を起こしたという意)

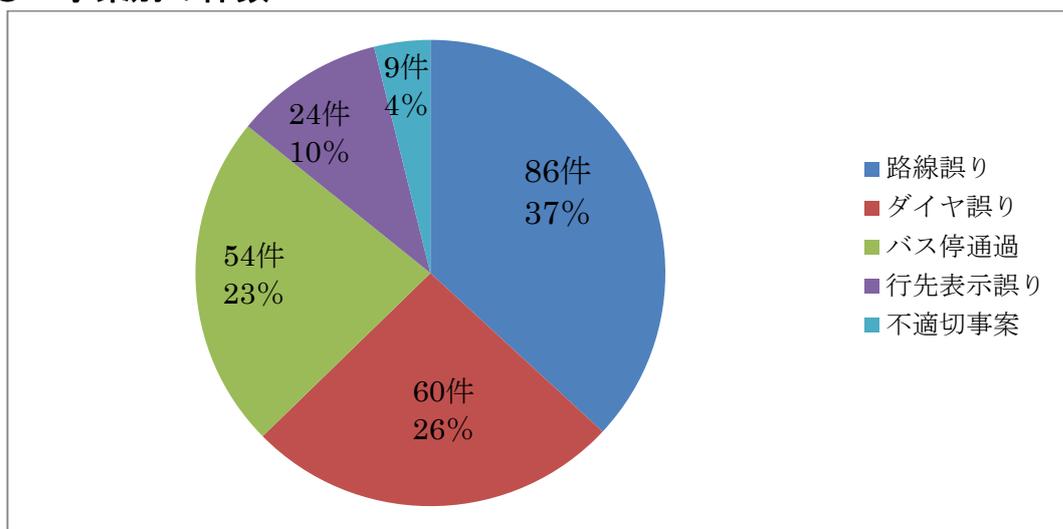
- 26年度の運行ミス惹起者は527人、このうち複数回惹起者は122人(23%)で、186人(35%)は25年度にもミスを起こしている。
- 惹起者数は増加したが、発生内容など職員一人ひとりの状況に応じた指導・教育の実施などにより、複数回惹起者は、前年度より12%減少した。

区 分	運行ミス等惹起者人数	
		うち複数回惹起者
25年度	496人	138人 (27.8%)
26年度	527人 〔うち25年度惹起者 186人 35.3%〕	122人 (23.1%)
増減率	+6.3%	△11.6%

2 平成27年度の運行ミス等の発生状況

- ・ 平成27年7月までの運行ミス等の発生件数は、233件（1日平均1.9件）
- ・ 事案別件数の構成比は、26年度とほぼ同じである。
- ・ 平成27年4月からスタッフダイヤ板の行先帯への着色やLED行先表示用コード番号を記載するなど改善したことにより、行先表示誤りが前年度より約23%減少した。

○ 事案別の件数



○ 月別件数 (件)

区分	4月	5月	6月	7月	計
路線誤り	22	15	26	23	86
ダイヤ誤り	22	14	14	10	60
バス停通過	14	15	18	7	54
行先表示誤り	10	3	3	8	24
不適切事案	2	2	3	2	9
合計	70	49	64	50	233
一日当たり	2.3	1.6	2.1	1.6	1.9
四半期	183			—	—
一日当たり	2.0			—	—

対前年度同月比較

区分	4月	5月	6月	7月	計
26年度	54	87	67	74	282
27年度	70	49	64	50	233
増減	16	△38	△3	△24	△49
対前年増減率	+30%	△44%	△4%	△32%	△17%

○ 不適切事案の内訳 (件)

区 分	27 年度 (7月時点)
法令違反	6
信号無視	4
指定場所一時不停止	2
その他の不適切事案	3
点検不履行	3
合 計	9